

会 議 録

会議の名称	第 1 期 小金井市地域自立支援協議会（第 2 回）
事務局	福祉保健部障害福祉課、地域生活支援センターそら
開催日時	平成 21 年 9 月 17 日（木） 午後 2 時 00 分から午後 4 時 00 分
開催場所	前原暫定集会施設 A 会議室
出席者	<p>【委員】</p> <p>伊藤良子委員(会長)、吉沢幸子委員、森田純司委員、山田満里子委員、矢野典嗣委員、大久保昌弘委員、富澤淳一委員、経澤利子委員、久芳和孝委員、中村悠子委員、秦郁江委員、佐久間育子委員(副会長)</p> <p>【事務局】</p> <p>障害福祉課課長補佐 林利俊、相談支援係長 高田明良、 障害福祉係 澤畠武士、相談支援係 小池直明 地域生活支援センターそら 施設長 熊倉弘子、伊藤奈保子</p>
傍聴の可否	可
傍聴者数	0 人
会議次第	別紙会議録のとおり
会議結果	別紙会議録のとおり
提出資料	添付のとおり

平成 21 年度第 2 回小金井市自立支援協議会 議事要旨

日時：平成 21 年 9 月 17 日(木) 14:00～16:00

場所：前原暫定集会施設 1 階 A 会議室

出席者：協議会委員 12 名(欠席 1 名)

障害福祉課課長補佐

障害福祉課相談支援係長

障害福祉課障害福祉係

障害福祉課相談支援係

地域生活支援センター そら (2 名)

配布資料 1：越永委員からのメールについて

2：小金井市地域自立支援協議会委員名簿

3：地域自立支援協議会委員名簿（平成 21 年 9 月 17 日現在）

4：小金井市地域自立支援協議会組織図

5：甲賀地域障害児・者サービス調整会議について（伊藤会長より）

6：新型インフルエンザについて～冷静な対応とは？～

開催にあたって、事務局より資料の確認。

1. 小金井市地域自立支援協議会委員の委嘱について

会長	・出席者 12 名（欠席 1 名）より、協議会は成立とする。 ・次第に従い、事務局から「小金井市地域自立支援協議会委員の委嘱について」の説明をお願いする。
事務局	・委員の変更についての報告。 小金井市商工会 → 大久保昌弘（おおくぼ よしひろ）委員 ・各委員の自己紹介。
一同	・異議なし。

2. 議題

(1) 自立支援協議会専門委員会の設置について

会長	・専門委員会の設置についての委員各位からの意見を伺いたい。幅広い視点で意見をお願いしたい。 ・本日欠席された越永委員より、事前に電子メールにてご意見の提出があったため、紹介する（資料参照）。
委員 A	・越永委員からの意見に賛同する。
委員 B	・専門部会の設置について方向性を確認したい。今年度の任期の短さも考慮す

	<p>べきなのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今あるネットワークでの関わり方をもう少し考えられないものか。既存の団体等を活かして検討していく必要があるのではないか。 ・ネットワークの中への協議会の入り方（入ってもらい方含め）についても検討していきたい。 ・困難事例についても、広い視点で検討していきたいが、具体的なイメージはまだ持てていない。
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> ・困難事例から、どのようなものが必要なのか検討していく必要があるとは、思うが、なかなか漠然としていて難しい。障害も様々であり、それぞれが求めていることが違うため、そこを突き詰めていくためには、ある程度の枠組みは必要だと思う。専門部会で検討していくことがよいのではないかと思うが、広がりすぎてしまい、まとまらなくなる懸念もある。 ・まずは、小金井市の既存のシステムをきちんと知ること、そして、一緒になれるものや新たに検討していく必要があるものなどを検討したていきたい。 ・政治的な問題もあるが、3年・5年とある程度の見通しを持った中での検討していくことが必要なのではないか。
委員 D	<ul style="list-style-type: none"> ・小金井市として「障害者計画」がどのように実行されていくのか検証していく必要はある。 ・「生活」と「就労」に分かれて議論を重ねていくことは必要なのではないか。 ・障害福祉課以外の担当部署との関係性について、横断的にどのように実施していけるのか交通整理する必要がある。
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・前回欠席につき、議事録を参照した中での見解となり、専門部会自体を設置するかどうかについては、返答が難しい。 ・小金井市における相談支援のネットワークの整備は必要に思われる。
委員 F	<ul style="list-style-type: none"> ・専門部会の設置を望む。内容については、他市の状況などを参照しながら検討したが、災害時生活部会と日常生活部会に分け、その内の日常生活部会については、必要に応じてさらに小部会の設置を検討してはどうか。
委員 G	<ul style="list-style-type: none"> ・本人たちが参加できる形を望む。作る場所から参加することで、自分たちにも責任が持てる。何か問題が起こったことについても、自分自身で対処していくこともできる。直接、発言できるような体制がよい。参加している意識をもつことが大切。
委員 H	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度何を重点的にやっていくのかを議論した上で、専門部会の設置を検討した方がよいのではないか。ただ、専門部会を作ればよいというわけではない。 ・昨年度作成した計画を検討していくことも自立支援協議会の仕事として大切なことだと思われる。 ・委員 11 名の中で、専門部会に分かれてしまうよりも、この協議会の中で議論を深められることの方がよいのではないか。 ・就労や生活など分けられるものではない。
委員 I	<ul style="list-style-type: none"> ・専門部会を設置するとなれば、就労についての設置は必要と感じる。 ・この協議会自体の規模は大きくないため、まずは協議会の中で、検討を重ねていくことが必要なのではないか。

会長	<ul style="list-style-type: none"> ・部会を設置することが目的ではないため、内容を詰めないで設置することにはしたくない。今回、来年度予算を検討することもあり、短い時間の中の検討となってしまった。 ・自立支援協議会の中で、何を中心に議論を深めていくのか検討していきたい。 ・市民からのアンケートなどからも、総括的なネットワークを求められていることがうかがえる。 ・参考として、自立支援協議会から発展した甲賀市の「甲賀地域障害児・者サービス調整会議」に関する資料を紹介（資料参照）。また、ダウンロードできるような就学前後のパスポートを作る取り組みもなされている。 ・どのようにすれば小金井市の中で、一人の一人へ充実したサービスを提供できるのか考えていく必要がある。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・小金井市として、予算要求等あり、設置の有無について今月中に検討が必要だったため、急いだ形での検討となった。 ・現委員の任期は1月29日。任期まで、毎月自立支援協議会を実施することは難しい。加えて、専門部会の設置をすぐに・・・ということも難しいと思われる。そのため、来年度は4・5月の多忙期を避け、6月以降から自立支援協議会を開催できればと思っている。 ・今回の委員は、各団体から推薦された方が委員となっている。そのため、委員各位がそれぞれの各団体に持ち帰り、協議していただき、それをまた協議会へ反映させていただきたい。 ・これまでも提示させていただいた資料（小金井市地域自立支援協議会組織図）を参照しながら、説明。 ・昨年度改訂した障害者基本法における「障害者計画」については、社会の動向など様々な事情が生じた場合には、見直しが必要であるといった場合においては内容を変更してよいということになっている。 ・自立支援法に基づく「小金井市障害福祉計画」は、平成23年度末までの計画であるため、その後、再度策定しなければならない。自立支援協議会の設置要綱にも謳われている点を確認してほしい。コンサルタント業者に依頼していたのは、「障害者計画」が入っていたためであり、「福祉計画」を策定するにあたっては、コンサルタント業者の導入は必要ないため、平成23年度中は自立支援協議会の中で、計画策定の業務で追われてしまう状況になる。この点に関しても視野に入れながら、今後の自立支援協議会の開催を検討していかなければならない。 ・「委員構成～小金井市地域自立支援協議会委員名簿～ネットワーク(案)」の資料参照。「エンジョイ・ワーク ところ」との関係（委員に含むかどうか）については、現在課内で検討中。 ・小金井市における資源の紹介が必要。その上で、それぞれで抱えている課題等を出し合う必要がある。 ・来年度は自立支援協議会の中で検討をしていく。毎月1回は実施できる予算ではある。22年度、専門部会が不要ということではなく、時間をかけながら専門部会の設置を検討していきたいと考えている。

委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者が参加できる部会があるとよいと思うが、それに対するサポートは必要になってくる。そのための予算をつけてもらうことはできるのか。試験的に実施する形で予算化をしていただけるとありがたい。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・小金井市の財政では、「たれば」の可能性での予算要求はできない。 ・この協議会は、傍聴は可能な会議となっている。当事者の方が情報収集できる場としても、傍聴は推奨したい。傍聴の有無については、インターネットや市報にて周知している。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にあげなければならない状況ではあったが、今月いっぱい・・・・という時間のない中での検討は難しい。23 年度実施を検討することはどうか。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの課で構成されている福祉保健部それぞれで立てている計画を、「福祉保健計画」としてひとつにまとめる可能性がある。詳細は未定だが、来月以降、話しが動いてくる予定。 ・年末までに特別支援教育ネットワーク協議会が立ち上がる予定になっている。（副会長も）メンバーの一員であり、自立支援協議会との兼ね合い等も出てくると思われる。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 23 年度には、また数字の検討になるということになる。
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も来年度も専門部会の設置はできない・・・・という結論なのか。 ・今年度は、課題等出していこう・・・・という話として理解してよいのか。
委員 H	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月開催は可能な予算ということであれば、作業部会についても、その予算内で検討することは可能なのか。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・予算上は、問題ない。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・専門部会の設置を希望した委員の意見はどうか。
委員 F	<ul style="list-style-type: none"> ・専門部会のイメージが違っていた。協議の中で、この協議会のメンバーでの専門部会なのか、それともまた他のメンバーを募るのか、未だによくわからない。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンク色の会長が中心となって作成したピンク色の冊子の紹介。便利帳というよりも、障害のある方へ特化した内容となっている。
委員 H	<ul style="list-style-type: none"> ・精神の分野でも「生活支援を考える会」という毎月 1 回開催されている連絡会の中で、昨年から市民の方にわかりやすい手軽なパンフレットの作成に向けて動いている。 ・知的の分野のわかりやすいパンフレットを参考にさせてもらったりしている。
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・今の議事について確認したい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野から委員として出席いただいているが、それぞれがどのような活動をしているのかということをお互いにあまりよく知らない状況なのではないか・・・・ということがある。 ・専門部会を設置しないということではなく、設置するかどうかも含めて、今後検討していく、という結論にしたい。
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・予算要求には、計上しない形でよいのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・I 市では、権利部会を設置している。委員はすべて公募。委員については、ボランティアという考え方になっている。そのため、予算にはこだわらない形で

	実施していることを参考として紹介。予算をかけずに部会を設置することも可能である点を報告させていただく。
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・よいネットワークをさらにつないでいくために必要な会議の設置については、検討していきたい。 ・地域生活の検討等について、当事者を含む枠組みの準備は、予算の計上をお願いしたい。
事務局	・東京都の職員や市の職員にゲストスピーカーとして依頼し、協議会で勉強会を実施することもできる。
委員 B	・平日のこの時間帯に当事者の方へ集まっていただくことや、傍聴に対して、声かけすることは難しい。きちんと参加してもらえるような体制にできれば、よいネットワークにつながるのではないかな。
事務局	・検討させてほしい。
副会長	・ガイドヘルパーの費用も含むのか。
委員 B	・含めてほしい。
委員 A	・ガイドヘルパーだけではなく、視力障害者のボランティアの会「つくしんぼ」の活用もできるのではないかな。制度の活用だけではなく、ボランティア活動を積極的に活用してもらえるとよいのではないかな。
委員 B	・「障害者計画」など金銭的な検討になる場合は、制度の内容など数を増やしていくということを位置づけてほしい。
事務局	・市内在住の方であれば、公費負担は可能。手話通訳も可能。
会長	・来年度始まってからということではなく、現段階から来年度に向けて検討を重ねていくことは必要。
委員 B	・「地域防災計画」の中など、当事者の方が自分の意見を伝える準備もあるし、伝える意思もあるということも含め、自立支援協議会の中で検討していければと思う。
副会長	・自立支援協議会が要望の場所になっては困る。要望をどのように実現していくのかを検討していくことが必要。他市で要望の場となっていて、混乱している状況もある。自立支援協議会の主旨を理解いただき、参加をお願いしたい。
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会の主旨がわからず、うまく伝えられない状況でもある。 ・運営委員会方式で実施している施設もあるため、その場で出された意見等をどのようにくみ上げ、反映させるのか。その辺りの接続についてはどのようにするのか。
副会長	・事務局で検討し、今後それをお知らせしたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・公平さが必要な会議のため、副会長からこのような話をさせていただいた。 ・各団体がどのようなことをやっているのか紹介していただく中で、小金井市の課題などを見つけていきたい。 ・「福祉計画」の検証を実施していくことも必要になっている。
委員 J	・現場の困難事例を検討していく場所なのか「福祉計画」の内容を検証していく場なのか、どこを目指しているのかよくわからない。
会長	・まだ時間をとっての議論がなされていないことが現状としてある。今後、様々

	な主張をしていただく中で、検討を重ねていく場としたい。
委員 H	<ul style="list-style-type: none"> ・計画にあるものをどのように実施していくのかを優先順位をつけながら、具体化について自立支援協議会の中で検討していきたい。 ・また、困難事例についての協議も行いたい。
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・分野別に抱えている問題や活動報告などについて共有したい。今年度はそのような方向でやっていくことはどうか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の自立支援協議会は、「福祉計画」に立ち返りながら、それぞれの団体の現状と課題について話をしていく場とする。 ・まず、はじめに精神の分野から紹介してはどうか。
委員 G	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者の若い人の集まりがない。身体を集まりは 60 代前後が主。 ・車椅子の人や耳の不自由な人、目の不自由な人・・・と様々な障害のある人が、「身体」としてひとくくりにされている。もう少し、きめ細やかな支援が受けられるとよいと思う。 ・また、若い人たちの集まりがないのも、街の中で、声をかけにくい（驚かせてしまうため、声をかけられない）現状がある。
委員 A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で、サポート体制が出来ていれば、声は自然にあがるのではないかな。自立支援の部分で、当事者の方へつながる形が小金井市でできればよいと思う。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の 46 ページにある「広報・啓発活動の充実」にある重点項目を予算化し、市の職員を対象に研修会を実施。第 1 回目を 8 月に実施した。知的障害(発達障害を含む)の勉強会を 2 時間実施。11 月に精神の障害特性を、1 月に身体障害特性の勉強会を実施する予定。全職員が受けられるような体制を組む予定。これにより、市民の方々へ、市の職員がきちんと説明ができるような形を目指す。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組んでいる活動について、次回は富澤委員から紹介をお願いしたい。
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> ・施設がどのように活動しているかよりも、それぞれが参加しているネットワークがどのようなものであるかを紹介することが必要なのではないかな。みんなで出し合うことで知ることが出来る。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・特定する形ではなく、それぞれの団体の紹介をお願いしたい。資料を持参してほしい。
一同	<ul style="list-style-type: none"> ・異議なし。

(2) その他

副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の自立支援協議会の開催について、検討したい。
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数(日程)について、示してもらいたい。
会長	<p>任期内での会議開催日程は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月29日(木) 14:00～16:00 ・11月19日(木) 14:00～16:00. ・12月は議会のため、なし。 ・1月21日(木) 14:00～16:00
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開催場所については、後日お知らせする。
一同	<ul style="list-style-type: none"> ・異議なし。

3. その他

事務局	<ul style="list-style-type: none">・ 新型インフルエンザの本格的な流行に対し、小金井市の新型インフルエンザ対策本部では、去る 9 月 12 日（土）に小金井市医師会の協力の下、「新型インフルエンザについて」という演題で市職員を対象に講演会を開催した。当日配布された資料を参考として配布したので、確認をお願いしたい。担当課は健康課となっている。・ 10 月に市民向けの講演会を実施する予定。
副会長	<ul style="list-style-type: none">・ 講演会についての資料は、後日電子データにて送付させていただく。・ 報道の内容と若干異なる点などあるため、講演会への参加をお願いしたい。
委員 C	<ul style="list-style-type: none">・ 小金井市での指導（その判断）はどの程度入るのか。
委員 E	<ul style="list-style-type: none">・ 保健所から施設を閉鎖するような指示は出さないが、状況による。
委員 C	<ul style="list-style-type: none">・ 区と市では対応が大きく異なっている。
副会長	<ul style="list-style-type: none">・ 1～2 人発症したからといって、それで施設閉鎖ということは基本的にはしないという話だった。「持ち込まない」ということが大事。・ 判断に迷う場合は、市へ連絡してほしい。

以上